

2014年度 第3回理事会議事録

日時：2014年7月29日（火）17:00～18:15

場所：三菱重工業本社 28F会議室

構成理事現在数：18名（理事会成立定足数は過半数10名）

出席理事：大宮，出馬，室田，松林，土屋，鈴木，樫尾，岩田，米沢，伊藤，廣瀬，古川，市川
（出席13名）

欠席理事：加藤，渡辺，池上，水野，鈴木（恵）（欠席5名）

出席監事：桑畑，高木

欠席監事：なし

事務局：滝沢

書記：小林（和）

（審議事項）

1. 前回2014年度第2回議事録の件（滝沢事務局長）

滝沢事務局長から説明があり，異議なく承認された。

2. 入会承認の件（庶務理事 土屋理事）

土屋理事より2014年度の会員数の状況の説明があった。

2014年5月20日から2014年7月16日までは29人純増で，現在，会員数は2136人である。新会員の入会を承認した。

3. 2014年度委員会体制の件（再）（編集担当池上理事→代理 滝沢事務局長）

事務局長より代理で，「OR誌編集委員会」修正版について説明があり，異議なく承認された。

4. 2014年度学会賞 学生論文賞の件（表彰理事 加藤代表理事→代理 滝沢事務局長）

事務局長より代理で説明があった。応募は8件であり，したがって当初から二次審査を実施し，そのうち5件を学生論文賞の候補として推薦するとした。異議なく承認された。

5. 2014年度第2回ORセミナー（以降）計画案の件（研究普及理事 樫尾理事）

樫尾理事より，いままでやられていない取り組み，研究者の活躍の割に普及活動が多くはない，近年注目を浴びている，という点から，ゲーム理論に関するセミナーを計画中であるとの説明があった。また，その具体的な内容について，松林理事から説明があった。

4月開催の第一回セミナーでは非会員の参加が多かったが，それら参加者の入会を促進するため，第二回セミナーは参加した非会員は無料で会員になれることとする。また，非会員の参加費は2万円，学生会員の参加費は，無料ではなく1000円とする案が説明された。セミナー会場では書籍販売の機会設置を検討することが提案された。

6. 「研究発表会・シンポジウム」の謝金の件（研究普及理事 鈴木理事）

鈴木理事より説明があり，承認された。研究発表会の謝礼の宿泊費の額（8000円）について質問があった。これは，理事の出張時の価格にあわせてあり，昨今の相場を鑑みれば妥当な額であると，事務局長から説明があった。

7. 2014年度第1Q収支決算の件（会計担当理事→代理 滝沢事務局長）

滝沢事務局長より，昨年と比較して大きな変動はなかったと説明があり，承認された。

8. 2015春季発表会実行委員会体制と特別テーマの件（研究普及理事 鈴木（勉）理事）

鈴木理事より説明があり，承認された。

9. 「活性化委員会」の今後の進め方（活性化委員会委員長 室田理事）

室田理事より下記の説明があった。先の検討の結果，中期的なテーマを設定することによって，PR活動をしやすくするという方針とする。それにより，従来付き合いのなかった企業との共同研究に結びつけたい。

「オリンピック・パラリンピックとOR」を2015～2016の統一テーマ案とする。2015年は，学会内に向けた

情報発信に力を入れたい。メディアへの発信も重要な仕事として位置づけたい。できればオリンピック・パラリンピックに関する研究部会を設置して活動したい。機関誌への企画は、1月号以降掲載する準備がある。

オリンピックは商標である件の扱いについて質問があった。商標であることは認識しており、機会をみてJOC および東京都に連絡すると回答があった。いわゆる「スポーツとOR」研究との関連の質問があった。「オリンピック・パラリンピックとOR」として想定しているのは、より広く輸送やリスク管理など運営面を含め、企業がビジネスチャンスとして取り組める観点からのORと捉えている。

ORという名前の普及にもつなげたいが、名称をどう使うかは、これまでORになじみがない人々への浸透の容易さの観点から、引き続き検討する必要があるかが議論された。

(8)最適化モデリングの本のシリーズ(最初は機関誌の「モデリング特集」の内容を出す)が進んでいる。執筆依頼を出す直前の段階までいっており、2015年3月の研究発表会で販売することを目標としたと説明があった。

(報告事項)

10. 「特定費用準備金」取崩しの件(滝沢事務局長)

滝沢事務局長から説明があった。今回の取り崩しは、同じ目的での使用のためであるので、審議事項ではなく報告事項とした。

ICCOPT2016とOR学会の関係について質問がなされた。ICCOPT2016は、OR学会が協賛しており、赤字になっても、OR学会は予定額以上の額を拠出することにはならないと説明があった。

11. 2016春季発表会開催地の件(研究普及理事 鈴木(勉)理事)

鈴木理事より、2016春季研究発表会開催地について下記のとおり説明があった。現在のところ未定であり、上智大学、青山学院大学を候補としたいが、上智大学は会員数が少なく、校舎の改修と重なるため会場に不安がある。一方の青山学院大学は、会員が学内で分散しており、開催実行は困難な環境にあり、青山学院大学での開催ができなければ、慶應義塾大学に打診したい。

上記議決を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名押印する。

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

2014年度 第3回理事会

議事録署名人

議長(会長) 代表理事 大宮 英明

(副会長) 代表理事 加藤 直樹

(副会長) 代表理事 出馬 弘昭

(副会長) 代表理事 室田 一雄

監事 高木 英明

監事 桑畑 暁生